



前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

育英大学開学2年目を迎えて

教育力の強化を目指して

育英大学・育英短期大学 学長 石井 學

育英大学、育英短期大学は教育力の一層の向上を目指しております。そのためには学生の意欲を尊重し、時代のニーズに応じた教育に取り組むとともに、特色ある教育の実現と、教育環境の整備を進めなければなりません。同時に学生が積極的に学習に取り組む指導体制の確立も重要です。

また、教育力の指標の一つがS/Tで表されます。Tは専任教員数、Sは学生総数で値が小さい程、教育力が高いとされています。本学はこの値が小さく、この評価での教育力が高いと言えます。今後は、アクティブラーニングを積極的に取り入れ教育力の一層の強化を進めたいと思います。



活躍するOB・OG

育英大学

充実した大学生活

教育学部教育学科スポーツ教育専攻2年 外山 結

私は中学校の教員になること、箱根駅伝に出場するという二つのことを目指し、育英大学に入学しました。入学当初は、開学一年目ということでした。少し不安がありましたが、今ではとても素晴らしい環境で勉強・部活共に打ち込めています。勉強面では、他大学と比べると学生一人に対して教員の割合が高いのが特徴であり、授業は頭に入りやすく、わかりやすいです。また、わからないことや悩みなどがあれば相談もしやすいです。

部活の面では、目標達成への第一歩として、今年は箱根駅伝の予選会に出場することができました。これからも怪我をせず走り込み、記録を伸ばし、結果を残していきたいと思っています。

残りの二年半悔いのないように生活を送りたいと思います。

※外山君は関東学生連合チームに選ばれたので、「箱根駅伝2020」に出場する可能性があります。応援よろしくお願いします。



育英短期大学

憧れの保育士に

保育学科2年 小島 結衣

私は前橋育英高校を卒業し、育英短期大学保育学科に進学しました。

短大での生活はとても充実しており、特にサークル活動や実習には力を入れて取り組みました。サークルでは、音楽に合わせて体を動かす楽しさを、子どもと共有することができました。また、実習では実際にクラス担任の先生になりきって、子どもと一日接する日がありました。自分の考えた遊びや活動に対し、「せんせーまたやりたい!」と子どもが笑顔で言ってくれた時は、とても嬉しかったです。

来年の4月から、県内の保育園に就職することも決まりました。子どもたちに毎日登園するのが楽しいと思ってもらえる保育ができる、笑顔の素敵な保育士になりたいと思います。



CONTENTS



特集

1～3面

- ・育英大学開学2年目を迎えて
- ・卒業生教諭情報交流会
- ・地域懇談会
- ・進路/スポーツ実績



保護者会だより

4・5面

- ・進路の日・進学合宿
- ・全P連大会・県P連指導者研究集会
- ・中毛地区PTA指導者研究集会
- ・育英祭・吹奏楽部定期演奏会
- ・マナーアップ運動
- ・県保護者会学校見学会



同窓会だより

6面

- ・同窓会長挨拶
- ・私の近況報告
- ・親子二代同窓生
- ・2020年度同窓生の集い



後援会だより

7面

- ・後援会長挨拶
- ・定期総会
- ・援助金贈呈式
- ・グランドピアノ贈呈式
- ・優秀前橋育英生
- ・コラム育英II



トピックス

8面

- ・全国大会出場決定
- ・文化部活動報告

学園長挨拶

校名の由来について

中村 有三



前橋育英高等学校は、昭和三十八年四月十二日に開校しました。

どんな校名にするのか？どんな理想を掲げるのか、あらゆる角度から考え抜いた挙句、到達したのが「育英」という校名でした。

即ち孟子の「君子の三楽」の

一、親兄弟が健康でつがなく生活している
楽しさ

二、自分の行いに恥ずべきことがない楽しさ
三、天下の英才を集めて教育する楽しさ

を出典としています。しかし、わが校は、天下の勉学の子弟を集めて、長所を認めて是れ

理事長挨拶

挨拶

中村 義寛



前橋育英高等学校は昭和38年に普通科の男子校として開学、その後男女共学となり今年で創立57年目を迎えました。この間2万4千名を超える卒業生を輩出し、それぞれの方々が多方面で活躍されておられます。昭和44年には工芸科、45年には女子

を伸ばすこと、を英才と考えました。そして文武両道を目指しスタートを切りました。

あれから昭和・平成の時代をのり超え令和の時代に切り、創立五十七年目を迎え、卒業生も二万五千人に迫っています。それぞれの地域社会に於て活躍され、名声を挙げられている卒業生の方々に、敬意と感謝を申し上げます。私は学園長として高校・育英大学・短期大学・幼稚園に顔を出し、それぞれの学校の姿を見て楽しんでいきます。

高校の甲子園での初出場・初優勝・サッカーの全国優勝で全国的に知名度も上がり、スポーツの育英として評価され、また県の高総体の総合優勝も二十四回に及んでいます。

大学進学にも年々実績を挙げてきました。最近の生徒達の姿には本当に頼もしく目を見張るものがあります。

これらは教職員の先生方の良い指導が結実したことだと思います。

教職員の方々の日頃の努力に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

保育科、51年には普通科に体育コースを設置その後体育科に昇格、58年には女子英語科を設置するなど変遷を重ね、現在は普通科の男女共学Ⅰ類Ⅱ類Ⅲ類Ⅳ類スポーツ科学、及び保育科の学科構成になっており、一人ひとりの個性を生かし能力を高める教育を実践しております。

本校は「正直・純潔・無私・愛」の4つの道義標準に則り、常に国際的視野に立つて、社会の福祉と世界の平和に寄与できる有為な人材の育成を図ることを建学の理念に据え、生徒の能力・適正・進路に応じた目的別教育を実践してきました。

今後も、更なる発展を目指すべく、学園、教職員が一体となり努力し、より一層の文武両道の実現に邁進してまいります。

校長挨拶

「人間力」

山田 耕介



人間性が優れて将来楽しみな存在になるような生徒とは？ リーダーシップがあつて、まわりから信頼されている生徒とは？ どういう生徒なのでしょう。

私はサッカー部の生徒にこんな式で説明しています。(技術×身体能力×人間力)良い選手なんです。つまり技術的に優れ、身体能力が高くても、最終的には「人間力」が大切なんです、と話しています。教師として長い経験の中で学んだことです。どんなに技術・身体能力があっても、人間力がゼロならばその選手の総合力はゼロになってしまう。勉強も同じで、やると決めたら実行する。やるやらないに技術や能力は関係ありません。どんなに知識・技術・能力があっても「人間力」がとれないか、成長・進化はできません。

それでは「人間力」とは何なのでしょう。さまざまな考え方があると思いますが、私は「人間力」とは「胆力」「包容力」「自律の精神」と考えています。胆力とは、事にあたって恐れたり、尻こみしたりしない精神力。ものに動じない気力。つまり芯が強い人だと思います。そして包容力とは、過ちや欠点なども含め相手のさまざまな点を受け入れることができる心の広さ、豊かさがある人だと思います。最後に自律の精神です。これは自分自身で立てた規範に従って行動することができ、人からの意思によつて行動できる人だと考えています。

高校生活の中で、しっかりとした人間力を身につけ、そして学び、成長していく姿を私達は期待しています。サポートしたいと考えています。皆さんがんばりましょう。

卒業生教諭情報交換会 vol.8

～教育現場から期待すること～ 10月24日(木)

恒例となった卒業生教諭情報交換会は、今年で8回目を迎えました。今回は群馬県内で活躍される15名の先生方にご参加頂き、教育現場で感じる貴重なご意見を頂くことができました。

●自然災害が続く昨今、有事に対する適切な対応は学校の責務である。避難訓練を始めとする防災教育の徹底をお願いしたい。



金子 先生

〈主なご意見〉

●誰に対しても挨拶をしつかりするという校風を磨いてほしい。全ての生徒が未来に向けて光り輝けることが、育英の質やブランド力の向上に繋がる。育英が光り続けていくことに期待している。

●先生方が生徒一人ひとりに合った接し方をしてくれるというイメージがあり、それが卒業後の進路に表れている。



佐藤 先生



岩崎 先生

●グローバル化への対応やICT教育の推進など、時代の流れにに応じた人材を育てられるよう、新たな展開を考えてほしい。

●育英のオープンキャンパスは雰囲気が良いという印象がある。小学生を対象としたオープンキャンパスも効果的なのではないか。

当日参加された先生方には大変貴重なご意見をありがとうございました。ご意見を前橋育英の発展に繋げていきたいと思っています。

〈ご参加頂いた先生〉

金子 登先生

(前橋みずき中学校)

岩崎 真人先生

(前橋第三中学校)

阿部 龍也先生

(前橋第六中学校)

齋藤 大輔先生

(前橋第七中学校)

須藤 達也先生

(前橋第七中学校)

小川 真太郎先生

(前橋南橋中学校)

岩木 佑太先生

(前橋南橋中学校)

中川 徹先生

(前橋荒砥中学校)

根岸 佑太郎先生

(前橋春日中学校)

橋本 智之先生

(高崎高松中学校)

小井土 泰之先生

(高崎寺尾中学校)

新井 健司先生

(高崎群馬南中学校)

佐藤 実可子先生

(玉村中学校)

三澤 秀匡先生

(嬬恋中学校)

玉田 和彦先生

(大間々北小学校)

進路

～きっと見つかる、色んな夢～

令和元年度入試結果

大学合格者数 国公立・準大学合格者数 私立大学合格者数
346名 **40名** **306名**
 (現役335名) (現役36名) (現役299名)

進路の日Ⅰ類

最難関大学である東京大学・京都大学に在籍する大学生による有意義な講演が行われました。日々の学習の積み重ねの大切さ「好きなことに夢中になることの素晴らしさ」など、高校生にとって最も大事なことを伝えていただきました。生徒たちも感銘を受け、日々の学びに生かそうとする様子が窺えました。

進路の日Ⅱ類

群馬大学、高崎経済大学に進学したOBから後輩たちに熱いメッセージが届けられました。毎日の勉強にどう取り組むか、希望進路を実現するためには何が必要かなど、同じ類型に在籍していた先輩の話は本校生徒たちにとってはおもしろくも具体的な身近なアドバイスになったようです。

校外夏期進学合宿を終えて

I・II類計116名の希望者が自らの学習習慣向上や受験に向けての臨戦態勢を整えることを目的に3泊4日の進学合宿に参加しました。恵まれた環境の中で学習すること、いつも以上の集中力を発揮できたり、長時間の学習に取り組めるなどの発見があったと思います。この経験を自らの力に変えてほしいと思います。

大学見学を終えて

東京大学・早稲田大学など、首都圏の有名大学を中心に各クラス2校ずつ見学してきました。大学関係者や現役大学生に案内していただき、大学の雰囲気や生活に感じることができたようです。志望校決定にはオープンキャンパス等の参加は欠かせないもので、今後は自らの足で積極的に参加してほしいと思います。

地域懇談会を開催

去る七月一日、学校近隣の「朝日が丘町」、「上新田町」、「光が丘町」、「大利根町」の四つの自治会役員の方々をお招きし、学校の近況報告、並びに地域住民の皆様からのご意見・ご要望等をお伺いする情報交換の場である「地域懇談会」を開催しました。

本校からは、県総体の結果や高校野球選手権群馬大会のご案内、第一体育館の空調設備設置工事の進捗状況などについて説明を行いました。自治会役員の方々からは、本校北門近くの交差点で今年既に2件の交通事故があったので、自転車生徒の一時停止を徹底させてほしい等のご意見がありました。また、サッカー部の新しいアパート(朝日



が丘ハイイツ)について、当初はゴミの出し方の問題があったが、現在では改善されている等の話もいただきました。今後、地域の皆様との情報交換を継続的に実施し、学校の改善につなげていきたいと思えます。

スポーツ実績

2019 Summer～Autumn

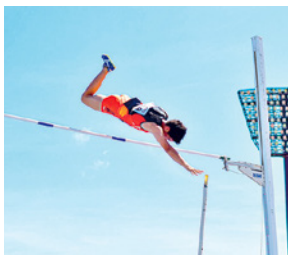
陸上競技部

2019南部九州インターハイ

■男子

【棒高跳】

古澤一生(2年) 5m27 **優勝**



柄澤智哉(2年) 4m90 9位

2019いきいき茨城ゆめ国体

少年男子A

【棒高跳】

古澤一生(2年) 5m15 **優勝**

第13回U18日本陸上競技選手権大会

■男子

【棒高跳】

古澤一生(2年) 5m10 **優勝**

柄澤智哉(2年) 4m90 3位

硬式野球部

第101回全国高校野球選手権大会 出場

第72回秋季関東地区高等学校野球大会 県予選 2位

第72回秋季関東地区高等学校野球大会 出場

男子サッカー部

2019南部九州インターハイ 出場

第98回全国高校サッカー選手権大会

群馬県大会 **優勝**

女子サッカー部

2019南部九州インターハイ 出場

群馬県高等学校女子サッカー選手権大会 **優勝**

第28回関東高等学校女子サッカー選手権大会 **優勝**

男子バスケットボール部

2019南部九州インターハイ 出場

2019ウィンターカップ 県予選会 **優勝**

女子ソフトボール部

2019南部九州インターハイ 出場

水泳部

■男子

第54回県高校総体 競泳学校対抗 2位

2019いきいき茨城ゆめ国体 競泳

少年男子A

【200m平泳ぎ】河原隼斗(2年) 出場

【400m個人メドレー】

河原隼斗(2年) 出場

少年男子B

【100m平泳ぎ】朝比奈倫寛(1年) 出場

【400m個人メドレー】

朝比奈倫寛(1年) 出場

ウエイトリフティング部

■女子

全国高校女子ウエイトリフティング選手権大会

【55kg級】

岡田夏美(3年) トータル154kg 3位

原志歩(2年) トータル154kg 4位

剣道部

■男子

2019南部九州インターハイ 団体出場

男子柔道部

■男子

2019南部九州インターハイ

【66kg級】射羽陸(2年) 出場

【81kg級】木村亮太(2年) 出場

女子柔道部

■女子

2019南部九州インターハイ 団体出場

【63kg級】延命未姫(2年) 出場

【70kg級】小鮎未来(3年) 出場

【78kg級】富澤沙夏(3年) 出場

【78kg超級】金子綾夏(3年) 出場

弓道部

2019南部九州インターハイ

田巻加帆(3年) 出場

ボウリング

第20回アジアスクールボウリング選手権大会

【女子4人チーム戦】

渡辺莉央(3年) **優勝**

保護者会だより

第2回 進路の日

進路指導委員長 林 真理

9月9日第3回「進路の日」に伴い、Ⅲ類、Ⅳ類、保育科の生徒を対象に「職業観育成ワークショップ」が開催されました。

例年通り保護者・O・B・OGの方々が各クラスに分

かれ「将来の就職までに知っておくべきこと」をテーマに、社会で生きていく上で何が大切か、などの話を下さいました。生徒の中には、メモを取り、質問を投げかけるなどの様



講師：原副会長

子も見られました。

この会が今後の生徒達の進路を考えるきっかけとなれば幸いです。私自身にとりまして、貴重な体験となりました。お忙しい中ご協力下さいました皆様、ありがとうございます。

進路指導部主任 渡辺 貴弘

普通科ⅢⅣ類保育科対象「職業観育成ワークショップ」は教室という空間で、身近な社会人である保護者の皆様と双方向の交流ができて生徒にとって貴重な機会となっています。インターネットの急速な発展によって、高校生が興味関心のあ

進路の日の講話を聞いて

2年10組 小鮎 療

「興味があることは深く掘り下げ何でもやってみる」ことが大事や、「人生は右か左かV字選択の連続」など将来を考える上で忘れられない良い話を聞かせていただきました。

自分の努力次第で良い結果に繋がると信じて、将来をしっかりと考えていきたいです。貴重な話をさせていただいた保護者の皆様、ありがとうございます。



講師：丸山会長



進学合宿を見送って

進路指導副委員長 松本 香津美



今年も厳しい暑さが続く中、7月20日から4日間、新潟県津南町にて進学合宿が行われ、多くの生徒達が参加しました。

出発式では、普段とは違う環境で行う学習に向け、生徒達の意欲が高まっているのを感じました。今年も保護者会より差し入れを行い、学校に残る先生方、進路指導委員会の役員で出発するバスを見送りました。



全国高P連 京都大会に参加して

8月22日～23日

会計 田中 衛



今回のテーマは、KYOから！未来を拓くでした。「KYOから」には京都から、大会の今日から、共に協力して、家庭教育からという思いが込められ、「未来を拓く」には、これまで蓄えてきた財産を元に子供達の未来や今後のPTA活動を創り上げるきっかけとなる大会にしてほしいと願うという意味があるそうです。講演では地域、学校、家庭が協力して子供達を育成し、特に家庭教育の大切さを学ぶユニモアありの楽しい講演でした。私自身も、今後のPTA活動に少しでも生かしたいと思いました。

県高P連指導者 研究集会に参加して

二年学年委員長 角田 ひろみ

11月15日、前橋テルサに於いて県内公立高校4校による研究協議の発表と、作家・ドリアン助川氏による講演が行われました。各校による発表は、生徒を中心として学校と家庭と地域の人達が協力して高校生活が充実している様子が伺える興味深いものでした。また講演は「生きるとは？」をテーマに人との出会いの大切さや思いやりを持つ意味を考える有意義な内容でした。

中毛地区PTA指導者 研究集会に参加して

書記 田山 一美

10月4日、前橋テルサにて中毛地区4校のPTA会員による協議と生徒による意見発表が行われました。

前橋西、前橋、伊勢崎興陽、玉村の各高校の取り組みについて詳しく意見を聞かせていただき学校とPTAの連携の重要性を実感しました。前橋東、前橋清陵、伊勢崎、伊勢崎興陽高校の生徒さん達の特長豊かな発表は交通安全や地域活性化などの思いが感じられる素晴らしいものでした。

育英祭

色咲—自分の色で
咲かせよう!!

育英祭実行委員長

3年6組 松村 泰河

まず、今回の第二十六回育英祭を開催するにあたり、御協力いただきました先生方や保護者の皆様、地域の皆様ご協力ありがとうございました。

無事に第二十六回目を迎えることの出来た育英祭ですが、一日目の校内発表ではあいにくの雨でした。しかし、生徒達は雨に負けず活気がありました。また、二日目の一般公開でも雨が心配されていましたが、天気に恵まれ気持ち良く文化祭を行えました。

生徒の皆さんは、クラスの仲間と共に力を合わせてクラス発表を行ったり、部



育英祭に参加して

総務委員長

新井 美智子

第26回育英祭が10月18・19日の両日で開催されました。

19日の両日で朝からの雨もあがり、沢山のお客様が来場くださいました。生徒一人一人のチカラ、また、クラスや部活の仲間で繰り広げる企画はまさにテーマの「色咲」そのものの。音楽や元気な掛け声が響き渡り、笑顔にあふれ、私達もパワーをもらいました。恒例の保護者会のバザーでは例年以上に品数も豊富に揃い、模擬店では珈琲の販売を新たに試みて、お客様と触れ合う機会が増えました。各地の台風被災に心傷む中で、学校一丸となつての育英祭が盛大に無事に催せた事は本当に有り難く、売り上げの一部を寄付金として被災支援に少しでも貢献出来る事を嬉しく思います。

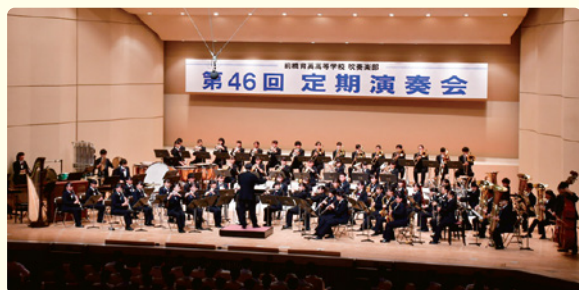


吹奏楽部

第46回
定期演奏会を聴いて

狩野とし枝

定期演奏会が、今年も盛大に行われました。山本先生をお迎えして三回目の演奏会、三年生にとっては集大成のステージとなりました。夏の大会を終えても毎日の帰りが遅く、疲れて帰宅する子供を見ていて、ただ頑張れと応援してやるだけでしたが、演奏会を聴いて感動と感激で胸が熱くなりました。これからも、前橋育英高校吹奏楽部の益々の発展をお祈りします。



マナーアップ運動

生徒指導副委員長

橋本 雅美

通学路での子供達の安全を見守る為、先生方や保護者会のご協力のもとマナーアップ運動を実施しております。交通違反、操作ミス、ながら運転など事故を起こす原因となる行動をせず、時間や心に余裕を持つて周りをよく見て、事故を起こさず、巻き込まれず、楽しい高校生活を過ごす為にも、慢心せずに安全を心掛けて登校しましょう。



学校見学会

会計 片貝 真裕美

群馬県私立小・中・高等学校保護者会連合会・学校見学会が10月11日、新島学園中学校・高等学校で行われました。礼拝室でパイプオルガンでのお出迎えがとても魅力的でした。校舎も綺



麗で、開放感溢れ、近代的な印象でした。聖歌隊もとても素敵でした。今回お世話になった各関係者の皆様方には大変お世話になりました。より感謝申し上げます。



前橋育英

雄渾

同窓会
だより

新たな時代に向けて

同窓会長 新井 信雄
(第3期生・昭和43年卒)

このたびの台風19号による記録的大雨で土砂崩れ災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。1日も早い日常生活の回復と復興をお祈り申し上げます。

前橋育英高等学校同窓会会員の皆様には、日頃より格別のご配慮・ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

今回の「同窓生の集い」の講演会では、同窓生で落語家の立川がじらさん(40期生)に在学中の楽しいお話しをいただきました。本人が学生時代に所属した落語研究会では、第6回全日本学生落語選手権にて駿河炎誌の高座名で審査員特別賞を受賞しており、新人落語家として今後さらに活躍が期待されます。

さて運動面では第54回県高校総体において男子は総合優勝(4年ぶり24回目)、女子は準優勝に

輝きました。

硬式野球部は夏の群馬県予選にて4年連続5回目の優勝、甲子園では代表校として堂々と試合ができました。

南部九州インターハイが鹿児島県中心で開催され、本校から女子ソフトボールを始めサッカー男女、バスケット、剣道、柔道等のクラブが出場し、特に陸上部の古沢一生君(2年生)が見事に棒高跳びで異次元の強さをみせ優勝いきいき茨城ゆめ国体においても優勝しました。

文化面でも2019さが総文祭に放送無線部の大林菜々さん(3年生)、ボランテア部の羽鳥寧里さん(3年生)が参加し、華道部はikenobob花の甲子園2019関東大会準優勝など見事な結果を出しています。

来年は2020年東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。本校同窓生の中には出場を目指している選手もたくさんいますので応援していきたいと思っています。

令和という新たな時代が始まり、前橋育英高校同窓会も新しい時代のなかで「同窓生の集い」実行委員会を組織し、13期生の板橋和美さんを実行委員長として次回の「同窓生の集い」の準備を始めています。

同窓会の新たな組織にご協力をお願いいたします。

私の近況報告

「ありがとう」が力に

(第46期生・平成23年卒)

利根川 和子



私は救急救命士の資格を有する消防官として消防署で勤務しています。救急救命士とは救急活動中に医師

親子二代同窓生



原徹(第15期生・昭和55年卒)
志歩(普通科2年)

昭和52年に前橋育英高校に入学し、当時は校舎も古く木造校舎もあり、廊下を歩くと窓ガラスが揺れガタガタと音がする建物でした。グラウンドも石ころが転がっており、決して環境が良い高校ではありませんでした。部活動は、柔道・自転車・フェンシング・ボクシングなどの個人競技の活躍が目立つ高校でした。私は

の指示の下で救急救命処置を行う資格のことで、少しでもプラスになればと高校卒業後、専門学校へ進みました。現在は主に救急隊員として数多くの現場に出動し、時には直視したい現場などもありますが市民の命と生活を守るため奮励しています。活動中、傷病者や家族の方々からの「ありがとう」が力になり、それがやりがいにも繋がっています。火災・救急・救助など消防業務はどれも市民の命や生活に直結しているため、責任も大きいですが、それ

夢を現実に!!

(第35期生・平成12年卒)

佐藤 信宏



私は卒業後、和食の料理人を目指し調理師専門学校を

以上で得られることもたくさんあります。消防は男性の職場というイメージで女性消防官はまだまだ少ないですが、女性だからできること、女性ならではの気遣いなど女性にしかできないこともあると思っています。今後多くの経験を通じ、さらに知識をつけ、市民の気持ちに寄り添える消防官になれるよう頑張ります。

経て京懐石料理屋に就職しました。8年間、京懐石の基礎を学び、その後いくつかの和食料理屋を渡り歩き修行をして参りました。その中で、新店舗の立ち上げを経験することもでき、「いずれは自分のお店を出したい」という思いが「京料理を基盤とした旬の食材や地元群馬の食材にこだわった和食のコース料理をゆつたりとした空間で提供するお店を創りたい」という、より現実的なものとなり、平成29年2月に地元である高崎で開業するに至りました。

現在3年目になりますが、お客様の美味しかったよや「ありがとう」の言葉が何よりも嬉しく、この先もお客様に喜んで貰えるような料理を創り続けていきたいと思っています。

和食 佐藤(高崎市田町)

前橋育英高等学校

2020年度 同窓生の集い

(同窓会総会・講演会・懇親会)

日時 2020年7月4日(土)
午後5時より場所 ホテルラシーネ新前橋
前橋市古市町1-35-1卒業生ならどなたでも参加OKです!!
お気軽にご参加下さい!詳細については後日同窓会HPまたは
Facebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページが出来ました★

<http://www.mikuei-dousoukai.com/>

後援会だより

令和を迎えて

後援会長 福島 英人



本年五月一日より元号が「令和」となり、我が校は昭和三十八年四月の開学以来、昭和・平成に続き三つ目の元号を迎える歴史と伝統のある学校となりました。

令和は万葉集からの出典ですが、万葉集は和歌の原点であり、その後の歌集等に大きな影響を与えました。身近なものでは「小倉百人一首」があります。

五十年以上昔のことです。小学五年生の時に県外から転校生が来ました。ある日の国語の授業中、上毛カルタから、百人一首の話になり、先生が上の句を読むと彼女はすらすらと百首全部の下の句を答えたのです。私たちは驚きました。休み時間に「どうして知っているの、どうやって覚えたの」と質問しました。すると彼女は「子

供のころからお正月には家族で遊んでいたの」と答えたのです。

こんな記憶と元号の由来に興味を覚えたので、百人一首についての本を買って読んでみました。目に留まった一句を紹介します。

いにしへの

奈良の都の八重櫻

けふ九重に匂ひぬるかな

来春の卒業生が、各方面で素晴らしい花を咲かせてくれることを心から願っています。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。

本校で学ぶ生徒が楽しく学び、いつの間にか知識が増え、豊かな教育環境で知らず知らずのうちに学力が向上できる、そんな三年間になれるように後援会として側面から支援してまいりたいと思います。

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

令和元年度

後援会定期総会

7月12日(金)ラシーネ

副会長 赤木 由美子

年号が平成から令和になり新たなスタートの年、7月12日ホテルラシーネ新前橋にて後援会定期総会が行われました。福島会長の議事進行により、定期総会にご出席いただいた44名の皆様に議案を審議頂き、全て承認されました。

その後、会場をうつし懇親会が開かれ、歴代の皆様から現在保護者会で活躍されている皆様と親睦を深め楽しいひとときを過ごしました。回を重ねる度多くの皆様のお顔が見られ、お話を伺いながら前橋育英への恩が感じられる貴重な日でした。今後、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



学校後援会援助金贈呈式

吹奏楽部顧問 深澤 準一



去る7月19日、後援会クラブ活動援助金贈呈式が行われ、福島後援会長からの激励とともに、18クラブが援助金を頂戴いたしました。今後、スチューデント・ファーストのもと、ご期待に沿えるように各部活動で有効活用させていただきます。

グラランドピアノ贈呈式

芸術科主任 柿沼 晴吾



2014年から後援会でグラランドピアノ購入のための積立を行っていただきましたが、9月30日に念願のヤマハのC6X・LCが視聴覚室へ納入されました。視聴覚室は模擬試験や講演会、保育科発表会など様々な行事で使われるため、大型キヤスターを持つ移動しやすいピアノへの変更は長年の夢でした。大切に使用させていただきます。

令和元年度『優秀前橋育英生』

今年度の『優秀前橋育英生』は、次の生徒達に贈られます。表彰式は12月23日終業式後に執り行われます。

陸上競技部 古澤 一生(2-1)

南部九州総体2019 棒高跳

いきいき茨城ゆめ国体2019

(第74回国民体育大会)少年男子A 棒高跳

ボウリング 渡辺 莉央(3-8)

第20回アジアスクールボウリング選手権大会

放送無線部 大林 菜々(3-3)

2019さが総文祭 朗読部門

ボランティア部 羽鳥 寧里(3-1)

2019さが総文祭

活動報告やフィールドワークで出場

コラム育英Ⅱ

2020年東京オリンピック開催

このコラムで取り上げて四回目となりました。いよいよ開催まで一年を切り、競技場や選手村の工事も進められ、オリンピック会場周辺の光景が変わり始めた事に気付いた人もいるのではないのでしょうか。オリンピック開近となる日本のスポーツ界で、バレーボール男子、ラグビーなど世界の注目となる活躍で盛り上がりました。既に決まったオリンピック出場国の選手、これから決まるそれぞれの競技の選手は、この盛り上がりを感じ、心を高ぶらせているのではないのでしょうか。東京オリンピック開催で世界各国との交流が増えていきますが、改めて日本が注目され、いろいろな視点で評価されるなか、日本の(お・も・て・な・し)が世界にどのように感じてもらえるか、目が離せないオリンピックとなるでしょう。

(〇記)



